

# 県士会 ニュース

No.  
202  
[2020.4]

Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

## Contents

### TOPIC

- 3 教育部 生涯教育手帳やポイントシールがなくなる！第2報
- 1 巻頭言
- 2 公益法人格取得への道～「(一社) 神奈川県作業療法士会が提供を検討している公益目的事業の一部をご紹介します！」～
- 2 第4回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会活動報告
- 3 各部からの報告
- 6 理事会議事録
- 7 求人案内
- 7 研修会案内
- 8 新入職の方へ県士会への入会をおすすめください！
- 8 事務局からのお願い
- 8 編集後記

## 巻頭言

### 2020年 一般社団法人神奈川県作業療法士会の 取り組みとニュースの送付

広報部 部長 神保 武則  
ニュース班 班長 出口 弦舞

新年度を迎え、会員のみなさまにおかれましては多忙の日々をお過ごしかと存じます。また新しい方々を迎え、希望に満ちた新年度の始まりをお迎えかと思います。

さて、一般社団法人神奈川県作業療法士会（県士会）は、2019年度からの4か年計画のスローガン「地域に密着した作業療法を一人ひとりの作業療法士が実行しよう」を継続する2020年度となります。我々の生活は少しずつですが変化しながら進んでおります。多様に変幻する時の流れがある昨今、我々作業療法士ならではの柔軟な対応や対策が求められていることは想像するに難しくないところです。より強固な組織体制を構築する上で今必要なもの、それは個々のネットワークを共有し、幅の広い視野を養い、協働して遂行する明確な目標設定が何よりも重要となります。そのためには、お互いの“話をする場の提供”が欠かせません。これらの取り組みの一助として、エリア化を着実に推進し、作業療法士同士の連携基盤とその組織化を実現すること、また大規模災害時の対策と運用システムの整備を進めること、更には地域包括ケアシステム構築に向け作業療法士の専門性を創出すること、など我々作業療法士の役割に対する意識と必要度を高める努力が益々重要と

なっております。「公益法人化」も大切な目標の一つです。また、後進育成のための臨床実習指導の形態も今年度から大きく変わります。県士会の活動や取り組みは様々です。今年度の“話をする場”として、5月に社員総会、6月に新入会員オリエンテーションなどがあります。多くの方に参加をいただき、沢山の意見交換をしましょう。

本県士会ニュースでは、これまで県士会活動や様々なトピックスを多く取り上げております。このようなトピックスを紙面でお手元に届く意義を尊重し、県士会広報部では会員向けに県士会ニュースを毎月送付にてお届けしております。しかし、県士会活動を今まで以上に力を注ぐ都合上、2020年度より当面は県士会ニュースの送付を4月号（本号）、8月号、12月号の年3回に変更といたしました。

送付のない6月号、10月号、2月号については県士会ホームページのPDFファイルにて公開とさせていただきます。

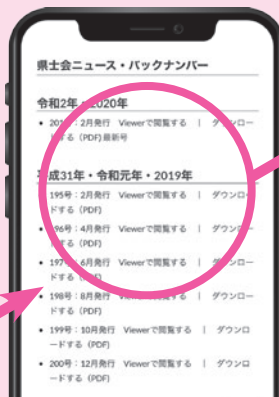
以下に閲覧方法を示します。何卒ご理解とご承知おきのほど宜しくお願い致します。またQRコードから新着情報メールマガジン『kanaからの手紙』に登録してください。発行時に通知予定です。



### 県士会ニュース(PDF)

#### スマートフォンで 閲覧した場合の例

★こちらから見られます！



Viewerで最新号を開いて見ることができます！（バックナンバーも見られます）

上記はこれから新入会される方にも御覧頂けますので、新人の方にも閲覧をご紹介ください。

## 公益法人格取得への道

～「(一社)神奈川県作業療法士会が提供を検討している公益目的事業の一部をご紹介します!」～

公益法人化対策委員会 澤口 勇

2020年4月は診療報酬改定の年。本号が出ている頃は、医療・介護の連携強化、多職種での取り組みなどがより一層評価されるなど、改定の大方な方針が明らかになっているでしょう。しかしながら、改定の本質は、市民がどう暮らすかであり、そのための手段を提示することが我々の使命ではないか。

この先、『日本人の老後』はますます「自分のことは自分で」「仲間と共に」ということらしい。昨今の「地域包括ケアシステム」や「共生社会」などというワードを市民目線で解釈すると私はこのように思っている。生活の中に「作業」があることは会員の皆様には重々承知のことと思う。市民（自分たちも含めて）は医療や福祉の専門家の力も借りながら「やがては自分で自分を律するようにならなくてはならない社会に適応していかななくてはならない」となると当然「作業」について学びたい、とする市民のニーズも出てくることは容易に想像がつく。

現在の(一社)神奈川県作業療法士会が行っている主たる事業内容は会員を対象とした研修会事業が大半であることは前号でも述べてきた。そのことは今後も会員のニーズとしてあり、間違いなく続けられていく。ここで提案したいのは、さらに市民を対象とした「プラスアルファ」の事業を、県士会主催としてさらに行っていきたい、というわけです。以下はまだあくまでも検討段階ですが、議論を進めるために一部を会員の皆様にもご紹介します。

- ①作業療法技術講習会（OTの知識・技術を公開する）  
他職種向けに、現行の「研修会」を一部、OT以外にも参加枠を拡大して行ってはどうか。
- ②介護技術講習会  
介護職に対して「介護技術」の講習会を実施し、市民の介護技術の向上に寄与する
- ③市民公開講座  
一般の市民を対象に、「病気の予防」「病気や障害を抱えても地域で暮らしていくコツ」など  
対象者：地域高齢者、就学児（特別教育・学童）など
- ④障害児・者、高齢者の社会参加を支援  
絵画など作品展／スポーツ大会などを開催
- ⑤障害児・者の福祉向上・啓蒙啓発活動  
当事者の体験座談会／リカバリーや権利擁護の発信／交通インフラ障害へのPRなど etc

私たち作業療法士は、これまでは所属する通所先に通われている患者中心のケアに従事すれば十分な時代がありましたが、今後は市町の市民に対するケアや講座（予防も含めて）なども本事業の対象となるだろうと考えております。作業療法が対象とする市民の生活は、地域にこそあるからです。県内は東西に広く、そのためには会員の皆様にもご理解とご協力が必要となっていくものと考えております。

## 第4回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会活動報告

地域リハビリテーション三団体協議会 研修班 矢野 竜也

令和2年1月18日土曜日に第4回神奈川県訪問リハビリテーション学術集会が横浜市の関内新井ホールにおいて開催されました。

「とことん地域密着!! 100%県民還元」のテーマのもと、みらい在宅クリニック港南院長の開田脩平先生による『アドバンスケアプランニング』に関する特別講演や、「家族支援」、「社会参加」、「多職種連携」などをキーワードとした10題の口述発表、県内3地区の連携協議会活動報告が行われた。参加者は県内外から101名が参加し、作業療法士は31名であった。

特別講演のアドバンスケアプランニング(ACP)は自ら望む人生の最終段階における医療、ケアを多専門職チームと十分な話し合いを行い共有する取り組みで、尊厳を持った生活を送るために本人の価値観、趣味、家族背景等を考慮し、医師看護師だけではなくリハビリ専門職、CM、CW等も集まり患者本人と家族の意思を引き出し尊重する必要が大切であるとのことであった。私たち作業療法士一人一人が命というも

のを考え直し、ACPを一般の人々に広く伝えていく必要性を感じた。

また、今回優秀演題賞を受賞された今岡誠氏(磯子区医師会訪問看護ステーション所属)は作業療法士で、「磯子区内の訪問看護ステーションにおける看護師とリハビリ職の連携の状況について」を発表され、調査により訪問看護ステーションでの連携は看護師からリハビリ職への働きかけが多く、リハビリ職からの連携の働きかけは少ない、という実態が明かになり、リハビリ職に対する在宅看護教育が必要であることをデータ用いて分かりやすく説明して頂いた。看護師と協同で研究し看護ステーション関係者も学術集会に参加されていたことから今岡氏への信頼の厚さが分かった。まずリハビリ職以外の専門職を理解することから本当の連携が始まることを教えて頂いた。

神奈川県訪問リハビリテーション学術集会は毎年開催される予定です。今岡氏に続いて多くの方の心に響く発表をお待ちしています。ぜひ発表者の熱い思いを感じて地域の方に還元されることを期待しています。



# 各部からの報告

## 教育部

連載「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」 県士会ウェブサイトから質問ができます！

(文責：教育部 奥原 孝幸 (神奈川県立保健福祉大学) 046-828-2738 (直)、kyoiku@kana-ot.jp)

このコーナーは、県士会教育部関連の情報をご案内していきます。教育部はOT協会の生涯教育制度に関する事業を主に展開しています。

### ●生涯教育手帳やポイントシールが無くなる！

#### 第2報 (2020年保存版)

前号に続いて生涯教育手帳がなくなり、OT協会(以下協会)ホームページ内の会員管理システムに入ります、というお話です。2020年3月までは手帳とポイントシールを使用し、2020年4月以降は以下の手帳移行準備をして、その後はシステム内にて自身で手続きします。今回は、その手帳移行の準備(県士会で手続き)に関してです。

本件は、前号で第一報をご報告し、その後協会誌2月号(p3~5)、協会ホームページの会員向けページ内の教育部生涯教育のページにすでに掲載されています。

その内容と協会での手続きはそちらをご確認いただき、今回は協会での手続きの前に行う県士会で行う手帳移行の準備に関してご案内します。協会では1回しか移行手続きができませんので、県士会で行うべき手続きがまだ残っていたということになってもそれは無効ということになりますので、くれぐれもお気を付けください。

では、県士会での手続きは何をするのか。これまでも行っていました①研修会等の参加証明書をポイントにする押印と、②県士会の役員や部員、学会や研修会当日の運営、行政への派遣等の県士会裁量ポイントの押印、③現職者共通研修、現職者選択研修が終了している方の修

了確認印の押印です。

なお、協会・県士会主催の学会等参加時のシールと臨床実習指導者のシール(養成校より配布)は、自身で貼付して年月日と主催団体と内容を明記してください。

それぞれ以下の書類を下欄に示す送付要領にて県士会事務局へ送付ください(従来の手続きとは異なり簡略化します)。県士会ウェブサイトにある申請書、協会会員証は不要です。

#### ①研修会等の参加証明書をポイントにする押印

参加証明書等をお持ちの方は、参加証明書とその内容を記載した生涯教育手帳内の生涯教育受講記録

#### ②県士会の役員や部員等の県士会裁量ポイントの押印

公文書(県士会発行の委嘱状)と生涯教育手帳内の生涯教育受講記録

#### ③現職者共通研修、現職者選択研修が終了している方の修了確認印の押印

それぞれの受講が規定通り修了している場合には、生涯教育手帳内の生涯教育受講記録

**送付要領:** 上記書類と返信用封筒(切手貼付、宛て名明記)を同封の上、以下宛送付ください。なお、受講記録の表紙に県士会名、協会会員番号、氏名を明記ください。

**送付先:** 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45  
第一国際ビル301  
一般社団法人神奈川県作業療法士会  
教育部 手帳移行手続きの係

## 地域包括ケアシステム推進委員会

5年目~10年目のOTへ 地域リハビリテーション活動支援事業に挑戦しませんか?! (文責:木下剛)

2016年からスタートした横浜市の地域リハビリテーション活動支援事業。4年が経過したが残念なことにこの事業を知らない会員は多い。簡単にこの事業を説明すると、H27年度に介護保険制度が改正され、それまで国が行っていた介護予防事業が市町村に移行された。これにより市町村が地域の特色を生かした独自の介護予防事業が行えるようになった。さらにセラピストを派遣するための「地域リハビリテーション活動支援事業」が新設された。横浜市はいち早くから地域リハビリテーション活動支援事業に着手し、市内の自主グループや地域ケア会議等にセラピストを派遣してきた。多くの市町村の介護予防事業ではリハ職がひとくくりとなっているが、横浜市はOT、PT、STを派遣先の内容によって使い分けている点が特徴だ。これによりOTはより専門性を生かした支援を展開することができる。



今回、私が2月に派遣された横浜市中区の自主グループの支援内容を紹介します。グループのメンバーは30名で男女

比は半々。年齢は70~90代前半。活動日は月二回。公園に集まり1時間半ほどコグニサイズや体操、歌などを行っている。担当保健師の依頼は、グループの活動に対してOTの視点でのアドバイスとメンバーのモチベーションをあげて欲しいと言うものであった。当日は講義形式でコグニサイズの効果や、社会参加・対人交流が認知症予防に役立っていること、趣味活動や仲間と新たな活動をつくる大切さなどについてOTの視点で話し、最後にこのグループの活動が非常に有意義であることをメンバーにお伝えした。

さて、この事業も4年が経過し今年度は66件もの派遣依頼が届いているがこの事業に派遣できるOTが少ない。5年目~10年目のOT諸君!病院や施設だけの仕事で満足していないか!2040年にはPT・OTの有資格者が需要に対して1.5倍までに膨らむとの話もある。自分のキャリアを考えて地域の事業に携わっておくことは無駄ではないはず!県士会にはこの4年間で蓄積されたノウハウがある。ぜひ一緒に地域で活躍できるOTを目指しましょう!

興味のある方、大歓迎です!県士会までご連絡を。

## 学術部

### スキルアップ研修会『OBP2.0とCAODの実践について～作業に根ざした実践理論と作業機能障害の種類と評価～』の活動報告

(文責：梶原 真樹)

令和2年初の学術部主催スキルアップ研修会は、吉備国際大学保健医療福祉学部で講師をされており、寺岡睦先生をお招きしてご講義頂きました。

講義内容として、作業療法の専門性を活かしつつ多職種連携を促進する新理論である『OBP2.0』について、『概要』『OBP2.0の作業療法』『多職種連携』『臨床応用』に分けて講義して頂きました。

また、座学だけではなくグループワークを多く取り入れて頂き、実際に同じ悩みを抱えている方々との意見交換を行うことが出来るような内容であり、若手からベテランの方まで大変参考になる内容でした。

作業療法	多職種連携
ICF	△
CMOP-E	○
MOHO	○
OBP2.0	○
DAB	○

【アンケート一部抜粋】  
・OBPの実践を使っていきたいです。長野から

来て良かったです。

- ・作業療法業界で有名な先生の講義を聞くことができとても良かったです。

学術部スキルアップ研修班では、来年度も様々なスキルアップ研修会を開催予定です！皆様のご参加を心よりお待ちしております。



### スキルアップ研修会『作業療法士ができる身体障害者へのハンドリング』の活動報告

2019年度最後の学術部主催スキルアップ研修会は、横浜市立大学附属市民総合医療センターに勤務されており、活動分析研究会でもご活躍されており、坂本安令先生をお招きして臨床35年目のベテランのハンドリングをご教授頂きました。

本研修会では、実際の臨床で経験する状況を踏まえたハンドリングの活かし方を、受講生からの質問事項を中心に講義・実技を行って頂きました。

講義内容として、【1. ハンドリングとは】【2. ハンドリングにおける配慮点】【3. 評価や介入のポイント・姿勢の分析】【4. 個別の治療手段】【5. 肩甲骨に関連するハンドリング】に分けてご講義頂きました。

【1. ハンドリングとは】では、『対象児・者との大切なコミュニケーション手段であること』、『上肢機能の問題や潜在能力を発見するスキルであること』などを学ばせて頂きました。

【2. ハンドリングにおける配慮点】では、『ハンズオンからハンズオフしていく際の段階付け』、『身体の大きさ



の違いによるハンドリングの考え方』について、自身の身体の使い方などを含めて学ばせて頂きました。

【3. 評価や介入のポイント・姿勢の分析】【4. 個別の

治療手段】では、『様々な介入方法がある中で、1つのアプローチにとらわれず様々な評価や介入方法を用いることが大切であること』を学ばせて頂きました。

【5. 肩甲骨に関連するハンドリング】では、『Scapula Setting』について学ばせて頂き、グループワークにて参加者同士で意見交換することが出来ました。

また、実技では筋・骨・体節の触れ方や誘導方法、相手の体型に合わせた身体接触の方法、片麻痺患者の上肢屈曲過緊張の緩め方や体幹失調に対するアプローチ方法 Scapula setting の方法について学ばせて頂きました。

【アンケート一部抜粋】

- ・治療に関わる内容で大変勉強になりました。
- ・体験・体感することの多い研修で楽しかったです

学術部スキルアップ研修班では、2020年も様々なスキルアップ研修会を開催予定です！皆様のご参加を心よりお待ちしております。



## 地域リハビリテーション部

(文責：遠藤 陵晃)

### 特別支援教育と地域作業療法 2019

#### 「子どもが育つための多様な取り組み～民間支援機関での作業療法士の活躍」活動報告

令和2年1月19日(日)に、地域リハビリテーション部主催で、「子どもが育つための多様な取り組み」～民間支援機関での作業療法士の活躍～という研修会を開催し、病院や地域で働く作業療法士が33名参加して頂きました。

午前中は、「子どもの育つ地域をデザインする」と題して、株式会社アクト・デザインの嘉門邦岳氏にご講演をして頂きました。株式会社アクト・デザインでは、作業療法士をはじめ多くの専門職が所属しており、訪問事業や障害児通所事業、相談支援事業など様々な事業を展開しています。また、保護者の悩みへの支援や、保護者交流会の開催、保育園の先生向けの研修会、地域への公開講座の開催も実施されています。地域をデザインする為には、地域を知る・考える・作るにより、子ども



をはじめ地域住民の活性化に繋がることを学びました。

午後は、「民間における作業療法士の役割」と題して、株式会社LITALICOの畠山久司氏にご講演頂きました。

LITALICOでは主に、スーパーバイザー業務、プログラムの開発、保育所等訪問支援同行等の業務に携わっています。民間企業で感じたこと、民間の支援機関だからこそ出来ることについて勉強になりました。作業療法の視点を使うことによって、地域と事業所を“つなぐ”役割の重要性を学ぶことができました。講義を踏まえて、嘉門氏・畠山氏・増子氏の3名が登壇し「民間における作業療法士の役割」について、講演中のキーワードをもとに、シンポジウムを行いました。

1日を通して子どもをサポートするためには多様な取り組みがあること、民間機関の強み、作業療法士の視点が重要なことを学ぶ貴重な機会となりました。



### 難病リハビリテーション研修会～難病者の生活支援

令和2年2月9日(日)曜日、横浜YMCA専門学校にて、地域リハビリテーション部主催の「難病リハビリテーション研修会2019」が行われました。

今年度の研修会のコンセプトは「生活支援 それぞれの立場から」でした。まず在宅医の立場から横山太郎氏、次に作業療法士の立場から西森太郎氏、村田明穂氏、そして当事者の立場から高野元氏が、それぞれアドバンスケアプランニング(ACP)やコミュニケーション支援について意見を述べられました。日本ALS協会神奈川県支部の高野元氏は、「積極的なリハビリテーションがALS患者のQOLを高める」をテーマに、コミュニケーション支援から、呼吸リハ、そして社会参加まで幅広くお話しいただき、受講生は好奇心旺盛な様子で聴講していました。質問も飛び交い、情報交換が活発に行われました。難



病領域でアドバンスケアプランニングを行うにはやはりコミュニケーション支援は必要であると感じました。また、QOLを高く保つためには、当事者家族と支援者とでこまめに想いを確認し合うことが大切であると、私自身、改めて気づきました。

### それぞれの立場から～活動報告

来年度に向けて、地域リハビリテーション部では、地域に根差した幅広い分野の研修会を企画しております。医療機関と地域での支援の懸け橋となればと思っています。



## エリア化推進委員会

来年度も OT コネクトミーティングを開催します！

(文責：エリア化推進委員会 大郷 和成)

会員の皆さま、こんにちは！

【顔が見えるナナメの関係づくり】をテーマに、「OT コネクトミーティング」を開催しております。2019年度は8会場で開催し、50名を超える OT の方々にご参加いただきました！ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

OT コネクトミーティングはざっくばらんに語り合える場を目指しております。「精神療養病棟での疾患別リハビリテーション料」といった保険制度の話や「地域ケア会議での関わり方」といった地域系の話から、「一人職場なのでなかなか出会いがない」といった悩みまで、会場ごとに色んな語り合いが繰り広げられています。研

修会のようなインプットの場も大事ですが、自分の考えや思いをアウトプットできる場も非常に重要です。皆さまの仕事にプラスになる出会いや発見がありますので、どうぞお気軽にご参加ください。

2020年4月以降も県内8エリアで開催予定です！

2020年も

OT コネクトミーティングをよろしくお願ひ致します。



## 理事会議事録

### ★ 2019年度 11月21日 理事会議事録

1. 日時：2019年11月21日(木) 19:02～21:08
2. 場所：神奈川県作業療法士会事務局
3. 参加理事：錠内、木村、金山、吉本、奥原、遠藤、野本、神田、佐藤範、戸塚、澤口、佐藤良、西川、大郷(14名)  
欠席理事：野々垣、佐々木、神保、玖島(4名)  
出席監事：田中(1名)  
欠席監事：鶴見(1名)  
その他：清野(広報部対外広報班長)、山口(事務局)
4. 審議事項
  - (1) 2020年度予算まとめについて  
吉本理事より次の報告がある。前回よりも更によりくなり、研修会収入も具体的になった。だが、研修会の収入自体は以前よりも減っている。収入アップを目指す必要もある。
  - (2) 事務局
    - 1) 後援依頼
      - 1-1) 県政地区リハビリテーション連絡協議会リハビリフェスタ2020 2020年3月29日(日) 川東タウンセンター マロニエ→承認
      - 1-2) 神奈川県保険医協会市民公開講座「怖くない認知症～セラセラ～」→承認
    - 2) 共催依頼
      - 2-1) 第18回神奈川県介護支援専門員研修大会協賛(展示ブース出展) 2020年2月15日(土) 高津市民館→承認
      - 2-2) 神奈川県総合リハビリテーション事業団かながわりハケアフォーラム 2020年2月22日(土) 横浜情報文化センター →承認
    - 3) 逗子市 令和2年度地域リハビリテーション活動支援事業について依頼 吉本理事依頼対応済
    - 4) 神奈川県介護予防事業ワーキンググループへの出席について 遠藤理事対応依頼済
    - 5) 鎌倉市より講師派遣の依頼について 吉本理事対応依頼済
    - 6) 茅ヶ崎市 模擬地域ケア会議出席依頼 遠藤理事、遠藤代議員に依頼
    - 7) 代議員選挙公示のウェブ掲載について 代議員数はAブロック46名、Bブロック31名。

- 8) 選挙管理委員会  
選挙管理委員長は池田公平氏(県立大学)に互選で決まった
- (3) 財務部
  - 1) 中間監査について 指摘・修正事項について 修正が必要な部署へ別途連絡。例年よりも修正箇所や内容が非常に多かった。再度『会計マニュアル』の確認と徹底をする。
- (4) 教育部
  - 1) SIGについて 神奈川県発達研修会の申請あり。⇒承認
- (5) 地域リハビリテーション部
  - 1) 部員の承認 和田かほり氏(川崎市北部地域療育センター) ⇒承認
  - 2) 介護予防普及展開事業アドバイザー  
年度末に市町村の報告会が予定。アドバイザーと遠藤理事参加予定。
  - 3) 藤沢市地域ケア会議のリハ専門職派遣、参加依頼 特にトラブルなく実施している。
  - 4) 建築士会から研修会協力依頼 「専門職連携 住宅改修ワークショップ」をテーマに年明けに実施予定。
- (5) 制度対策部
  - 1) 台風19号被災会員に対する会費減免などの対応の検討について 現時点で県士会には規定がない。今回及び今後、対応するか否かについて検討するかどうかを議論したい。⇒今後も継続審議とする。
  - 2) 災害対策班 台風19号に伴い、会長判断による安否確認システム稼働。
- (6) 規約委員会
  - 1) 行方不明会員について 専門家(司法書士、弁護士)に相談。現行の定款・規程では退会扱いは難しく、変更が必要。次回の総会までに変更手続きを実施していく。
  - 2) 専門家の選定について 個人情報保護規程の見直しに伴い、専門家の選定を実施している。
- (7) 生活行為向上マネジメント推進委員会
  - 1) 部員の承認 村中隼一郎氏(茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)・三嶋直己氏(横浜リハビリテーション専門学校) ⇒両者とも承認
- (8) 認知症対策委員会
  - 1) 認知症の人と家族の会つどい  
2019年11月10日(日) 委員4名派遣

以上、文責 金山

# 求人案内

## コトノハ訪問看護 リハビリステーション

作業療法士・理学療法士・言語聴覚士募集

概要：訪問看護ステーションからの訪問リハビリ  
テーション・外出支援事業・地域貢献事業等

(在籍：NS 5名・PT 6名・OT 6名・ST 1名)

◇市町村や地域包括支援センターの委託事業にも  
事業所として積極的に関わっています

◇利用者様の希望をカタチにする活動を一緒にか  
なえることが出来ます

募集人員：常勤1名・非常勤1名 (OT/PT/ST)

待遇：常勤 月給30万円～(年収460万円～)  
非常勤 時給1,900円～

昇給年1回・賞与年2回・決算賞与有  
社保完備・退職金制度有・提携保育園有

勤務時間：9:00～17:30

休日：完全週休二日制、有給休暇、年末年始、  
特別休暇等

応募方法：随時 TEL・mailにて (担当者 森下)  
見学の上、面接のご案内を致します

〒239-0807 神奈川県横須賀市根岸町3-7-9 2階  
京急北久里浜駅 徒歩5分

TEL：046-884-8071

Mail：morishita@kotonoha-kango.com

## 社会福祉法人 光友会 藤沢市太陽の家しいの実学園

作業療法士募集

募集人員：非常勤1名 (産休代替)

募集内容：肢体不自由児や発達障害児のリハビリ  
テーション

募集時期：令和2年4月～令和3年7月頃 (雇用  
延長は応相談可)

応募資格：作業療法士の資格を有する方

給与：非常勤1,400円～1,600円/時  
(経験等優遇)

勤務時間：月～金 (8:30～17:30)

※勤務日数・勤務時間等は相談に応じます

休日：土・日・祝日は休み

4週8休・有給休暇・特別休暇等あり

応募方法：電話連絡の上、履歴書 (写真添付) 持  
参又は、下記宛に郵送して下さい

※先ずは、お気軽にお問い合わせください

〒251-0037

藤沢市鵠沼海岸6-6-12

TEL：0466-33-1411

Eメール：yamanoue@lfa.jp

児童発達支援センター 藤沢市しいの実学園施設長  
山野上

## 研修会案内

### ●【触診が苦手な方限定】第14期6日で学ぶ評価・ アプローチのための触診セミナー

主催：療法士活性化委員会

日時：第14期2020年4月4、5日・5月2、3日・6月6、7日

場所：ウィリング横浜

URL：<https://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

### ●高齢者に対する運動処方 の最前線

～介護予防・フレイル・サルコペニア・栄養・転倒予防～

主催：コウセラ

日時：2020年4月12日

場所：ウィリング横浜

URL：<https://kouteraken.jimdofree.com/>

### ●★第2弾 臨床につなげられる身体機能の評価の仕方★ (動作分析時の6つのみる！クラインフォーゲルバツ ハの運動学の視点など)

主催：MediArt (メディアアート)

日時：2020年4月12日

場所：横浜市都筑区中川中央1-4-4 ブランズセンター北1階

URL：<https://mediart2016.jimdo.com/>

### ●すっっっごい分かりやすく、ハンドリングの基礎を学 ぼう！寝返り、起き上がり、立ち上がりのハンドリン グが明日から出来るようになる！

主催：MediArt (メディアアート)

日時：2020年4月19日

場所：横浜市都筑区中川中央1-4-4 ブランズセンター北1階

URL：<https://mediart2016.jimdo.com/>

### ●2020年度 横浜精神分析研究会 (文献講読と症例検 討) —メラニー・クラインとクライン派の臨床—

主催：横浜精神分析研究会

日時：毎月 第2日曜日 (4月のみ第4日曜日)

場所：港北区社会福祉協議会、菊名コミュニティハウス

URL：<https://yokopsy.com/index.php/meeting>

### ●日常臨床のための対象関係論横浜セミナー第四期のご 案内 —対象・疾患別による心理療法の実際—

主催：横浜精神分析研究会

日時：毎月1回令和2年5月より原則第一日曜日

場所：八洲学園大学

URL：<https://yokopsy.com/index.php/objectrelations>

### ●エビデンスに基づく認知症リハビリテーション —その介入戦略にエビデンスはあるか?—

主催：コウセラ

日時：2020年5月3日

場所：ウィリング横浜

URL：<https://kouteraken.jimdofree.com/>

### ●第56回三浦半島作業療法研究会

主催：三浦半島作業療法研究会

日時：2020年5月29日

場所：神奈川県立保健福祉大学

URL：<http://miuraot.kenkyuukai.jp/event/>

## 新入職の方へ 県士会への入会をおすすめください!

当会は研修会だけでなく、神奈川県民の保健・医療・福祉の向上に寄与することを目的として活動しています。神奈川県をよりよくするため、一緒に活動する仲間を増やしていきましょう!!

入会案内

当会HP (<https://kana-ot.jp/>) 「入会手続き」から入会申込書をダウンロードしてお申込みください。

事務局

事務局からの  
お願い

### ●届出内容を変更される方

住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、  
『変更届』を ①郵送 又は ②FAX にてご提出願います。(随時受付)

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ公式ウェブサイトのINDEXより、ダウンロード可能です。  
なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落としとなり、返金を致しかねます。

編集後記

新年度を迎え、新人や人事異動など忙しい時期となりましたが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。巷では「コロナが! コロナが!」とコロナウィルスの話ばかりですね。バナナに紅茶にお湯など、摂取すれば予防効果があるというものや、トイレトペーパーやティッシュがなくなってしまうなど、インターネットやSNSが普及したことで至る所で根も葉もないデマが広まるようになったと感じます。改めてエビデンスに基づくことが重要だと考えさせられます。自身の臨床ではどうなのかと反省しつつ、今年度も質の良い作業療法を提供できるよう精進しようと思えます。(まつ)

## 一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース (202号) 2020年4月発行(年3回発行)

発行責任者 錠内 広之

編集責任者 神保 武則

編集担当 出口 弦舞(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科)

山岡 光(湘南慶育病院) / 佐藤 愛(新戸塚病院) / 安田 優子(横浜旭中央総合病院)

丸岡 ちひろ(済生会横浜市東部病院) / 松井 洋鷹(浏野辺総合病院)

印刷 発送 株式会社高陽印刷所

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301号

TEL/FAX : 045-663-5997

月火水木金 10:00~15:00

メールアドレス : [jimu@kana-ot.jp](mailto:jimu@kana-ot.jp)

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト

<https://kana-ot.jp> → 作業療法 神奈川県 検索

Facebook

<https://www.facebook.com/kaotwebkan>

Twitter

<https://twitter.com/kaotwebkan>

